

2017年3月期 決算説明資料

 川澄化学工業株式会社

2017年5月11日

説明内容

2017年3月期 決算の概要

2018年3月期 通期の業績見通し

2017年3月期

2017年3月期決算の概要

連結

金額：億円

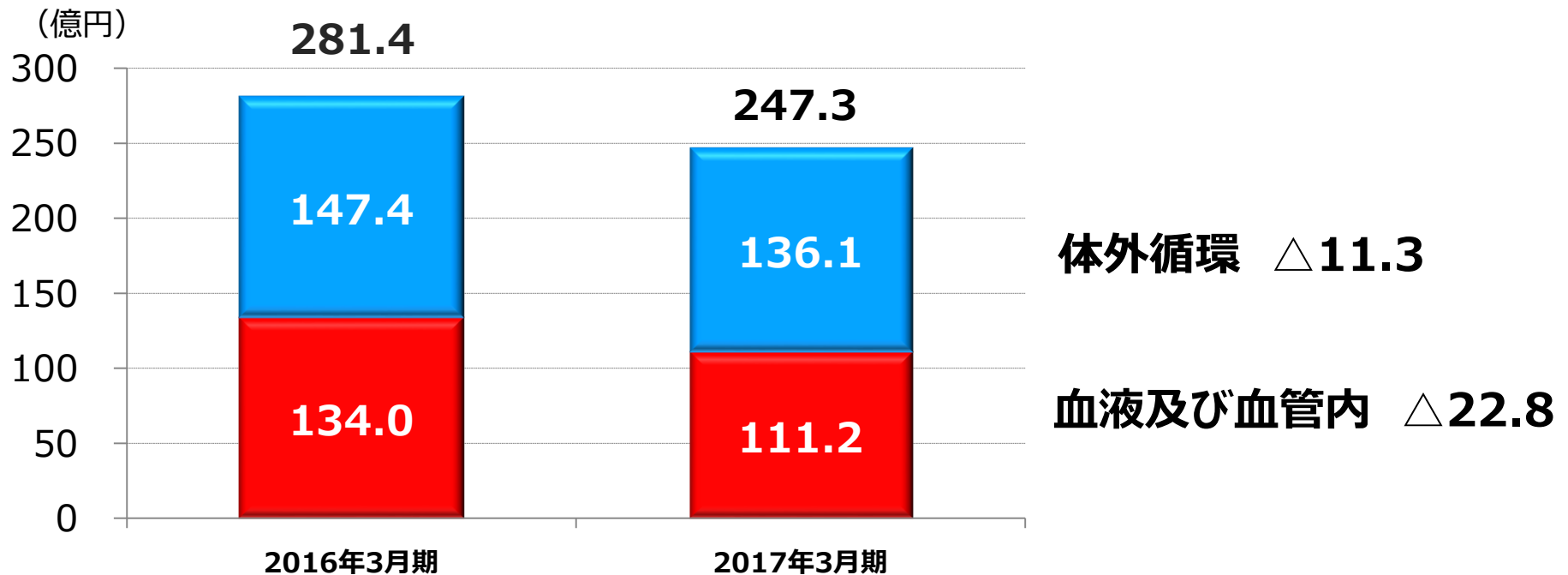
	2016年3月期	2017年3月期	増減額	増減率
売上高	281.4	247.3	△34.1	△12.1%
売上総利益	101.3	88.6	△12.7	△12.5%
営業利益	21.3	9.2	△12.1	△56.7%
経常利益	21.8	10.2	△11.6	△53.1%
当期純利益	11.7	11.2	△0.5	△4.4%

為替レート	2016年3月期	2017年3月期
US\$	120.16	108.72
EUR	132.53	118.44
Baht	3.42	3.10

- ・売上高は、国内透析用血液回路などの販売が増加した一方、為替影響や競争激化による国内血液バッグの販売減少、償還価格の引き下げ、OEM先販売減などにより前期比34億円の減少。
- ・売上総利益は、減収影響などにより、前期比13億円の減少。

2017年3月期

売上高 (セグメント別)



【血液及び血管内関連】

【増加】 スtentグラフト

【減少】 血液バッグ

輸液ポンプ用回路 (OEM)

成分採血キット (OEM)

【体外循環関連】

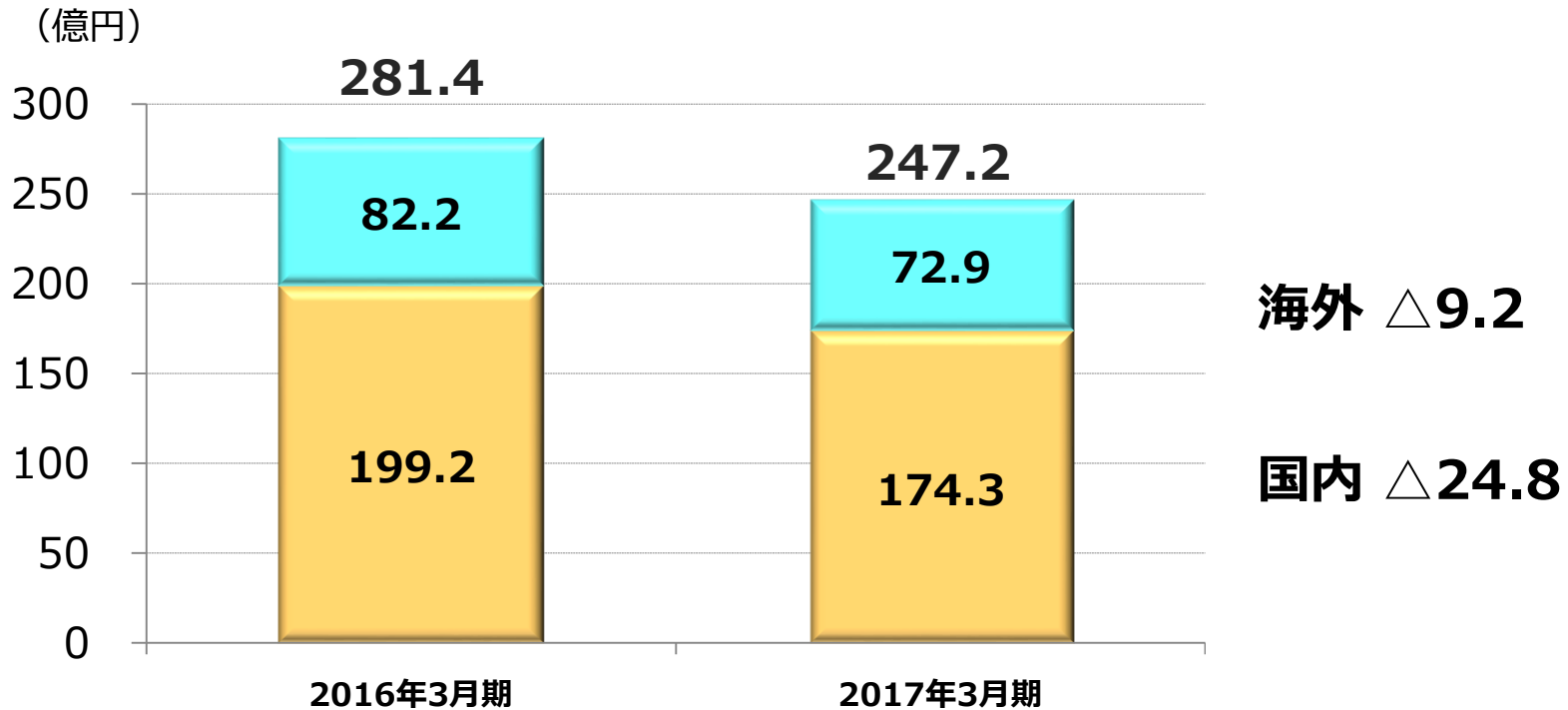
【増加】 国内向け血液回路

【減少】 ダイアライザー

海外向け血液回路

2017年3月期

売上高（国内外）



【国内】

- 【増加】 血液回路、ステントグラフト
- 【減少】 血液バッグ、成分採血キット（OEM）
ダイアライザー

【海外】

- 【増加】 ME機器
- 【減少】 血液回路、ダイアライザー
輸液ポンプ用回路（OEM）

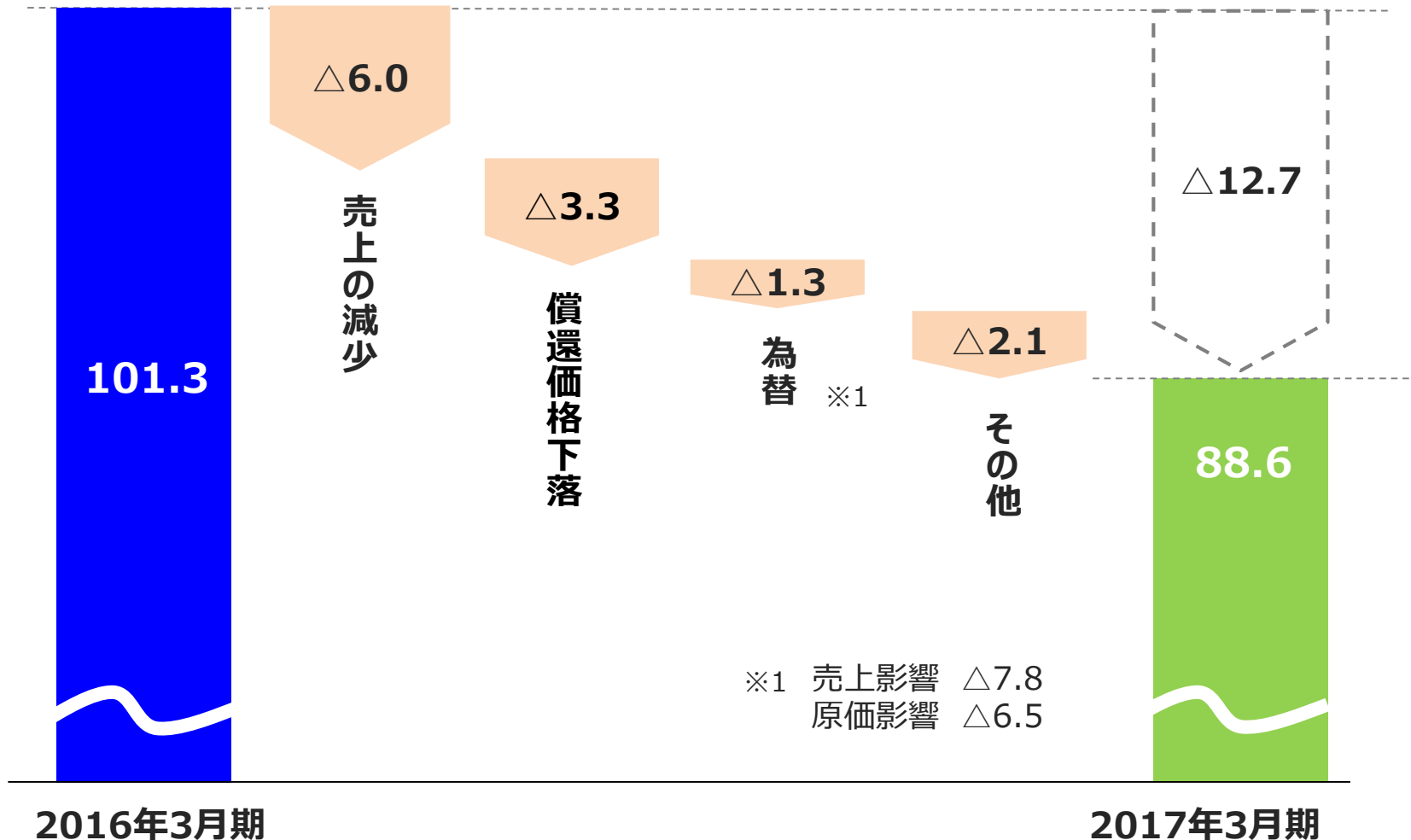
2017年3月期

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位：億円)

前年同期比



2017年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額：億円

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
人件費	35.7	37.0	+1.3
運送費	9.8	9.1	△0.7
その他	34.5	33.3	△1.2
合計	80.0	79.4	△0.6
内) 研究開発費	7.0	9.8	+2.8

- ・ 研究開発費は、研究開発力の強化のための人員増および委託試験研究費増により、増加。
- ・ その他は、タイ子会社の生産設備移設に掛る費用がなくなったこと、および営業効率のアップによる経費削減などにより減少。

※2017年3月期の人件費数値に誤植があり、5/26に修正を施しています。

説明内容

2017年3月期 決算の概要

2018年3月期 通期の業績見通し

2018年3月期

2018年3月期の見通し

連結

金額:億円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
売上高	247.3	250.0	+2.7	+1%
営業利益	9.2	6.0	△3.2	△35%
経常利益	10.2	6.5	△3.7	△36%
当期純利益	11.2	6.0	△5.2	△46%

為替レート	2017年3月期	2018年3月期
US\$	108.72	110.0
EUR	118.44	120.0
Baht	3.10	3.15

・売上高は、透析用生理食塩液や海外向け血液回路の販売数量減を見込んでいる一方、海外向け血液バッグや海外向け翼付採血セット、成分採血キットなどの販売増加を見込んでおり、合わせて前期比で約3億円増の250億円の見込み。

・営業利益は、国内外でのコスト改善活動を推進するものの、研究開発費の増加等を見込んでおり、前期比で約3億円の減益見込み。

The logo for Kawasaki Chemical Industry Co., Ltd., featuring a stylized 'K' inside a circle.

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster1@kawasumi.jp